

区立小中学校の読書状況の調査結果について

1 目的

区立小学校 10 校及び区立中学校 22 校を対象に、読書の状況や傾向を調査することにより、図書館事業や学校図書館事業に活用する。

なお、小学校の調査については、タブレット端末によるアンケート機能を活用し集計した。

2 集計結果

小学校 別紙 1 のとおり。

中学校 別紙 2 のとおり。

3 読書状況概要

(1) 小学校

① 不読率の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
板橋区	6.5%	6.2%	9.6%	7.7%	10.1%	7.8%
東京都 2 年生		3.3%		2.9%		※2
5 年生		3.7%		4.2%		
全国 4～6 年生	4.0%	5.6%	8.1%	6.8%	※1	5.5%

② ポイント

令和 3 年度の不読率は 7.8%であり、令和 2 年度と比較すると、2.3 ポイント減少した。新たな生活様式に慣れたことによる減少であると考えられる。

全体的に高学年になるにつれて、読書から離れる傾向にある。

今回新たに「読書をする場所」を質問した。自宅や学校が多数であり、図書館での読書は 1 割程度であった。

図書館への来館について、行かない割合が 63.4%であり、令和 2 年度と比較すると 14.9 ポイント増加している。

(2) 中学校

① 不読率の推移

	H28	H29	H30	R1	R2	R3
板橋区	10.5%	9.5%	9.9%	7.3%	12.2%	10.4%
東京都		11.1%		9.9%		※2
全国 4～6 年生	15.4%	15.0%	15.3%	12.5%	※1	10.1%

② ポイント（別紙から抜粋）

未読・不読率において、9 年生が 18.4%と突出しており、昨年度（8 年生時）より倍増している。昨年のコロナ禍による休校の影響で、各校が朝読書の時間を補充学習の時間に充てたことで不読率が高まった学年が、受験中心の生活になったことでさらに不読率を高めたと思われる。

逆に 8 年生は、7.7%で昨年度（7 年生時）より半減している。元々読書習慣の定着があった学年が元の状態に戻ったと考えられる。

※1 全国の R2 調査は、中止している。

※2 東京都の R3 調査は、実施していない。

(別紙 1)

令和 3 年度
「読書についてのアンケート」
集計結果
(小学校)

令和 4 年 3 月作成

板橋区立中央図書館

1 目的

区内小学生の読書の状況及び傾向を把握することを目的とし、区立図書館や学校図書館の事業に活かしていくもの。

なお、収集方法をタブレット端末によるアンケート機能を活用し、回答数の増加と集計の効率化を図った。

2 調査概要

(1) 実施期間

令和4年1月26日（水）～2月9日（水）

※舟渡小学校のみ、試行として先行実施したため、期間は令和3年12月9日（木）～23日（木）

(2) 実施校及び回答状況

学校名	児童数	回答人数	回答率
志村第一小学校	423	206	48.7%
志村第二小学校	520	114	21.9%
蓮根小学校	528	251	47.3%
板橋第一小学校	561	244	43.3%
金沢小学校	882	464	52.6%
常盤台小学校	591	502	84.9%
向原小学校	239	174	72.8%
赤塚小学校	627	99	15.8%
成増ヶ丘小学校	728	524	72.0%
高島第五小学校	176	125	71.0%
合計	5,275	2,703	51.2%

※舟渡小学校の回答状況は、児童数499人、回答人数330人、回答率66.1%である。なお、学年ごとの集計ができないため、全体集計からは対象外とする。

(3) 実施方法

タブレット端末のアンケート機能を活用し実施する。

3 集計結果

アンケート集計結果については、以下のとおりである。

割合については、小数点以下第2位を四捨五入して掲載している。

各設問に令和2年度の回答割合を掲載している。設問の選択肢が同じではない場合は、調整している。なお、無回答の割合は省略しているため、100%にならない場合がある。

集計データは、別表のとおりである。

<結果内容>

問1 本を読むことは好きですか？ひとつ選んでください。

すき／どちらかといえばすき／どちらかといえばきらい／きらい

学年が上がるごとに本を読むことがすきではなくなる傾向がある。令和2年度と比較すると「すき」が6.3ポイント上昇、「きらい」が3.8ポイント減少した。

問2 この1か月の間にちいきの図書館に行きましたか？どちらか選んでください。

行った／行っていない

高学年ほど図書館に行かない傾向がある。令和2年度と比較すると行かない割合が14.9ポイント上昇している。

調査対象校に図書館が近い学校があったが、それでも図書館が利用されていない現状がある。

全館をあげて、改善策（図書館のイメージ・児童との接し方・保護者への働きかけなどを含む）を検討する必要がある。

問3 この1か月の間に本を読みましたか？朝読書をふくみます。どちらか選んでください。

読んだ／読んでない

学年が上がるごとに本を読まない傾向がある。令和2年度と比較すると2.3ポイント減少した。図書館としては、読む楽しさを継続して提供していき、不読率の減少に取り組む。

問4 問3「読んだ」を選んだ方のみ

A 何冊読みましたか？ひとつ選んでください。

1～5冊／6～10冊／11冊以上

学年が上がるごとに読む冊数が減る傾向がある。全体では、1か月の間に6冊以上を読んだ児童が50%を超えており、本を読み続けられる児童が多いことがわかる。

B どこで読みましたか？ふくすう選べます。(R3からの新たな設問)

自分の家／図書館／学校／ともだちの家／その他

コロナ禍であることも影響して、自宅や学校で読む児童が多い。その他の回答には、病院・電車・祖父母宅などがあつた。

C なぜ読むのですか？ふくすう選べます。

楽しいから／勉強になるから／すすめられたから／宿題・朝読書だから／その他

楽しいから、勉強になるから本を読むという回答が70%を超える結果となった。

その他の回答には、小さいころから読んでいる・時間があるから・集中できるからなどがあつた。

D 何を読みましたか？ふくすう選べます。

えほん／ものがたり／ちしきの本／ずかん／その他

一人読みができるようになるため、絵本からものがたりに移行することがわかる。ちしきの本（ずかんを含む）は、各学年で同程度の割合である。

その他の回答には、小説やエッセイなどがあつた。

問5 問3「読んでない」を選んだ方のみ

A なぜ読まないのですか？ふくすう選べます。

楽しくないから／読みたい本がないから／ともだちと遊びたいから
／ゲームをしたいから／勉強をしたいから／運動をしたいから／テレビ
を見たいから／その他

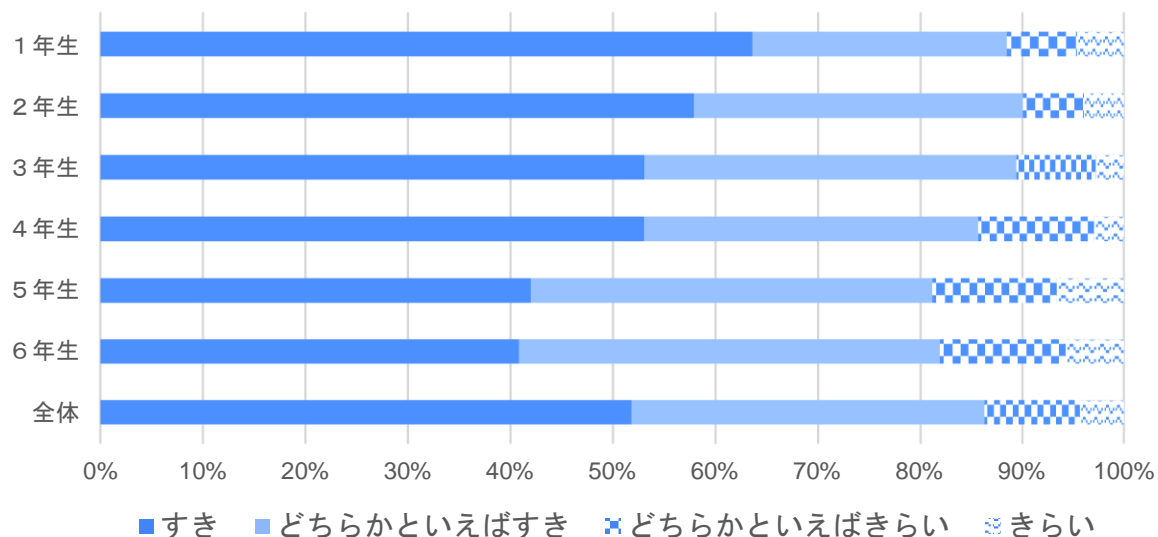
読まない理由として、突出している項目はなかった。

その他の回答には、時間がない・めんどくさい・読むのが苦手などが
あった。

(別表)

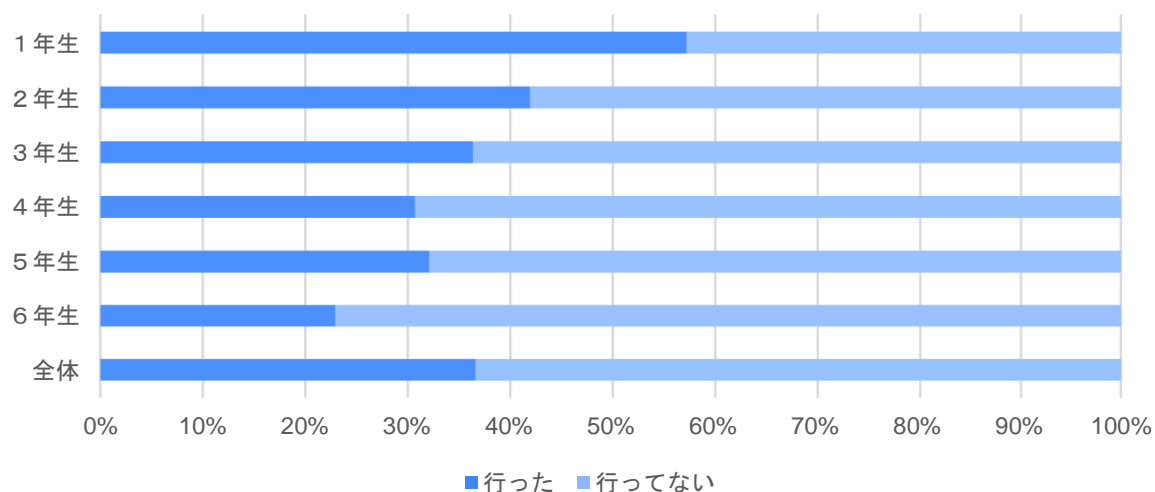
問1 本を読むことは好きですか？ひとつ選んでください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	390	482	509	479	424	419	2,703	3,314
好き	63.6%	57.9%	53.0%	53.0%	42.0%	40.8%	51.8%	45.5%
どちらかといえば好き	24.9%	32.2%	36.3%	32.6%	39.2%	41.1%	34.4%	33.1%
どちらかといえば嫌い	6.9%	6.0%	7.9%	11.5%	12.3%	12.4%	9.4%	12.8%
嫌い	4.6%	3.9%	2.8%	2.9%	6.6%	5.7%	4.3%	8.1%



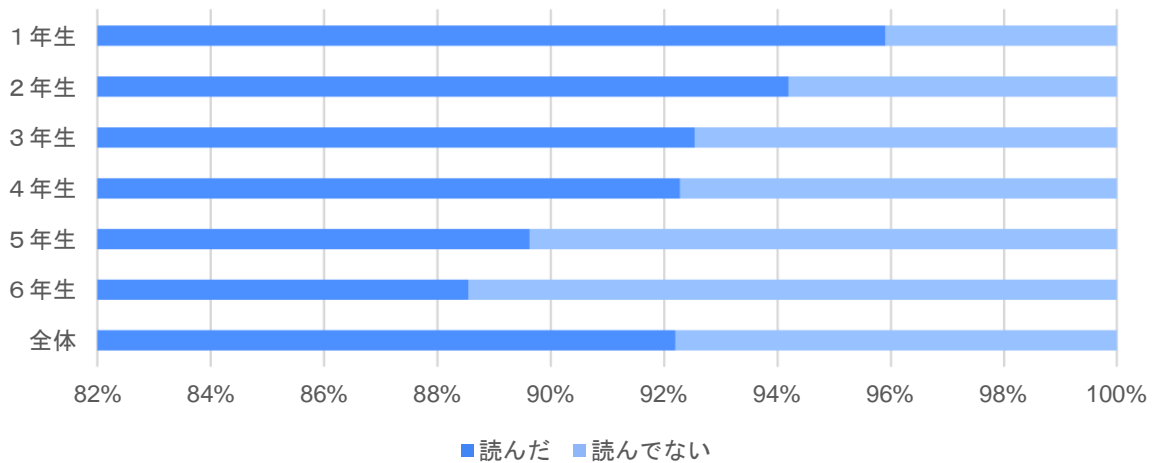
問2 この1か月の間にちいきの図書館に行きましたか？どちらか選んでください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	390	482	509	479	424	419	2,703	3,314
行った	57.2%	41.9%	36.3%	30.7%	32.1%	22.9%	36.6%	45.8%
行ってない	42.8%	58.1%	63.7%	69.3%	67.9%	77.1%	63.4%	48.5%



問3 この1か月の間に本を読みましたか？朝読書をふくみます。どちらか選んでください。

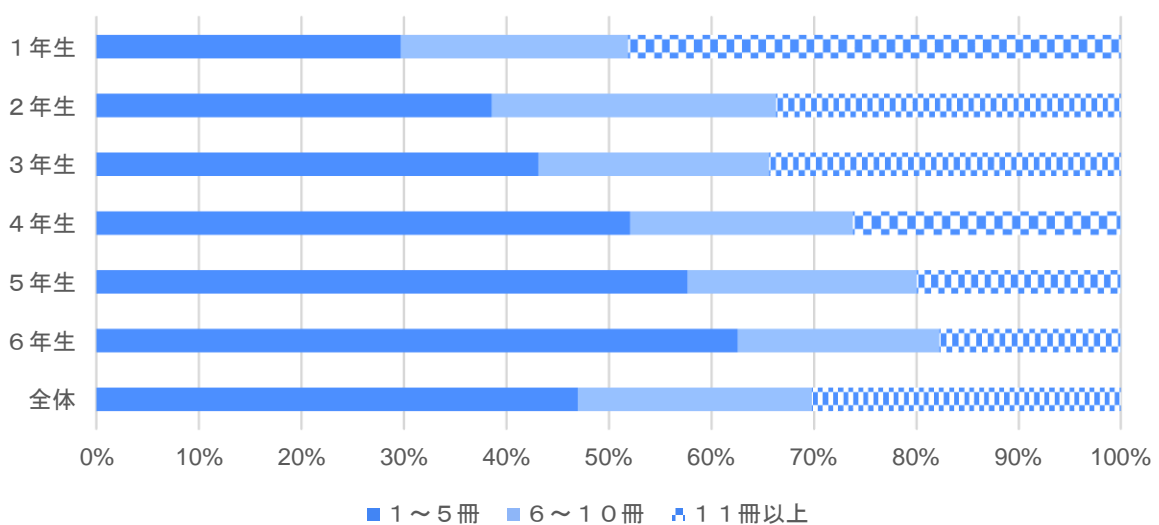
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	390	482	509	479	424	419	2,703	3,314
読んだ	95.9%	94.2%	92.5%	92.3%	89.6%	88.5%	92.2%	89.1%
読んでない	4.1%	5.8%	7.5%	7.7%	10.4%	11.5%	7.8%	10.1%



問4 問3「読んだ」を選んだ方のみ

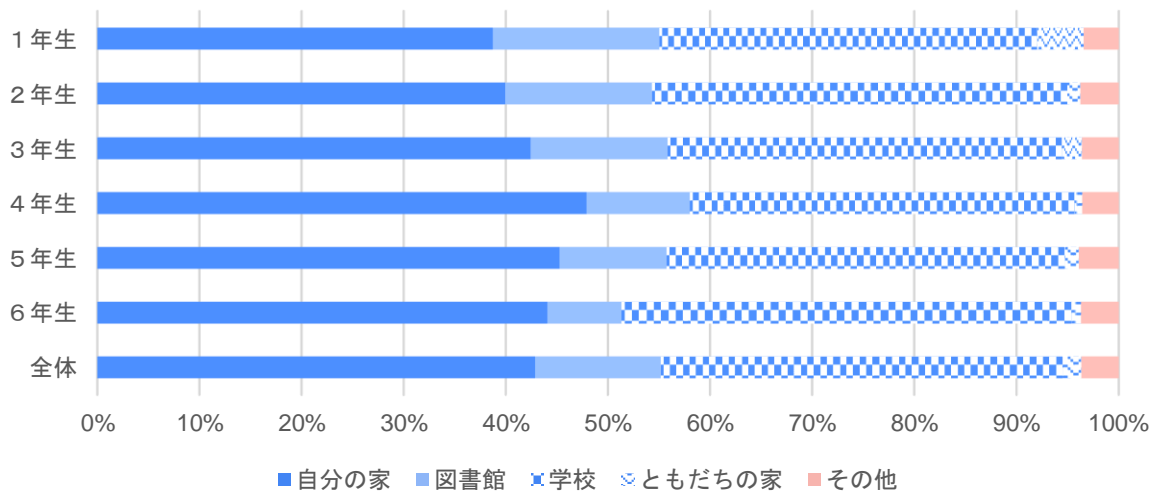
A 何冊読みましたか？ひとつ選んでください。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	374	454	471	442	380	371	2,492	2,953
1～5冊	29.7%	38.5%	43.1%	52.0%	57.6%	62.5%	47.0%	47.7%
6～10冊	22.2%	27.8%	22.5%	21.7%	22.4%	19.7%	22.8%	16.2%
11冊以上	48.1%	33.7%	34.4%	26.2%	20.0%	17.8%	30.2%	25.2%



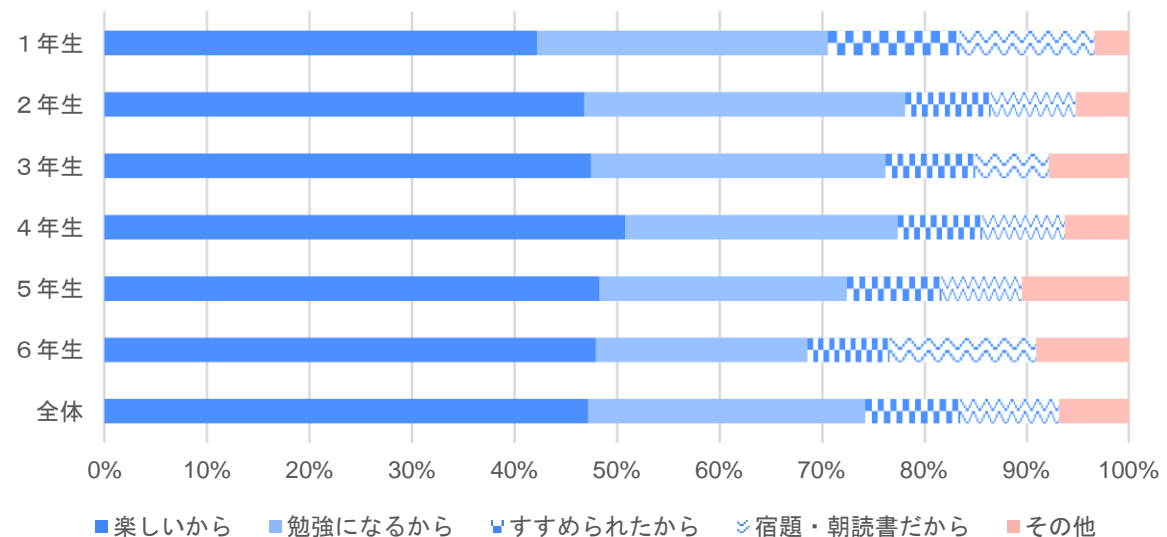
B どこで読みましたか？ふくすう選べます。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体
回答数	816	934	917	810	716	649	4,842
自分の家	38.7%	39.9%	42.4%	47.9%	45.3%	44.1%	42.9%
図書館	16.3%	14.3%	13.4%	10.1%	10.5%	7.2%	12.3%
学校	37.0%	40.7%	38.6%	37.7%	39.0%	44.1%	39.4%
ともだちの家	4.5%	1.3%	2.0%	0.7%	1.4%	0.9%	1.8%
その他	3.4%	3.7%	3.6%	3.6%	3.9%	3.7%	3.7%



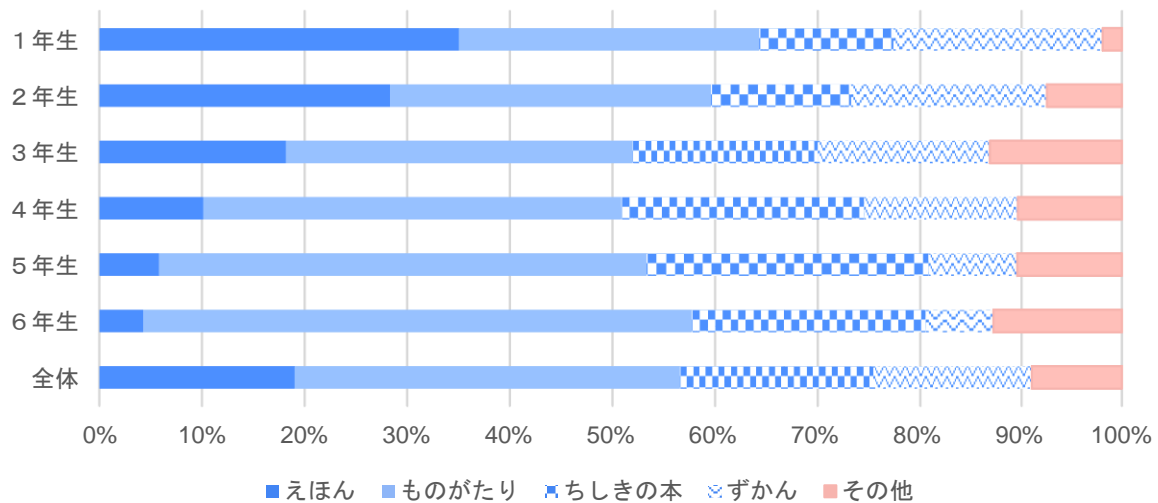
C なぜ読むのですか？ふくすう選べます。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	716	789	776	715	572	572	4,140	5,340
楽しいから	42.2%	46.8%	47.4%	50.8%	48.3%	47.9%	47.1%	34.0%
勉強になるから	28.4%	31.3%	28.7%	26.6%	24.1%	20.6%	27.0%	29.8%
すすめられたから	12.8%	8.4%	8.8%	8.3%	9.3%	8.0%	9.3%	11.0%
宿題・朝読書だから	13.3%	8.4%	7.2%	8.1%	7.9%	14.3%	9.7%	—
その他	3.4%	5.2%	7.9%	6.3%	10.5%	9.1%	6.8%	23.7%



D 何を読みましたか？ふくすう選べます。

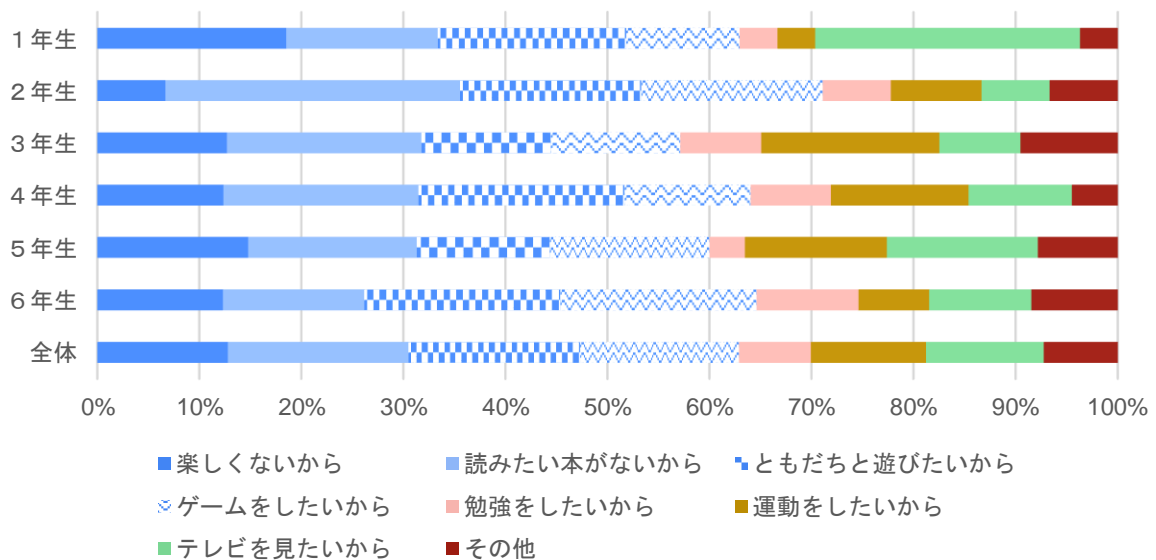
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	888	1,017	897	781	604	539	4,726	5,382
えほん	35.0%	28.3%	18.2%	10.1%	5.8%	4.3%	19.0%	21.7%
ものがたり	29.3%	31.3%	33.8%	40.7%	47.5%	53.4%	37.5%	36.4%
ちしきの本	13.1%	13.7%	18.1%	23.7%	27.5%	22.8%	18.9%	21.3%
ずかん	20.7%	19.3%	16.8%	15.1%	8.8%	6.7%	15.6%	16.3%
その他	1.9%	7.5%	13.2%	10.4%	10.4%	12.8%	9.0%	2.6%



問5 問3「読んでない」を選んだ方のみ

A なぜ読まないのですか？ふくすう選べます。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	全体	R2全体
回答数	27	45	63	89	115	130	469	499
楽しくないから	18.5%	6.7%	12.7%	12.4%	14.8%	12.3%	12.8%	24.4%
読みたい本がないから	14.8%	28.9%	19.0%	19.1%	16.5%	13.8%	17.7%	28.3%
ともだちと遊びたいから	18.5%	17.8%	12.7%	20.2%	13.0%	19.2%	16.8%	13.0%
ゲームをしたいから	11.1%	17.8%	12.7%	12.4%	15.7%	19.2%	15.6%	—
勉強をしたいから	3.7%	6.7%	7.9%	7.9%	3.5%	10.0%	7.0%	—
運動をしたいから	3.7%	8.9%	17.5%	13.5%	13.9%	6.9%	11.3%	—
テレビを見たいから	25.9%	6.7%	7.9%	10.1%	14.8%	10.0%	11.5%	—
その他	3.7%	6.7%	9.5%	4.5%	7.8%	8.5%	7.2%	29.9%



板橋区立中学校 生徒の読書状況調査
「読書についてのアンケート」まとめ
今後の課題と取組例

(令和 4 年 1 月調査)

板橋区立中学校長会
板橋区立中学校教育研究会

1 概要

第三次東京都子供読書活動推進計画において、令和元年度東京都が実施した読書状況調査を受け、令和3年度の板橋区立中学校全校の読書状況を調査し、現状把握をするとともに読書活動への意識向上の機会とする。また、調査の概略を報告し、今後の課題と取組例を紹介する。

2 調査内容

(1)「読書についてのアンケート（生徒用）」

令和元年度東京都が調査した読書状況調査項目に準じる。

(2) 調査対象

各中学校の各学年から1学級ずつ抽出し、全学年で3学級分、計66学級分とする。

3 調査結果

(1) 調査対象生徒数

1935名

(平成29年度2165名・30年度2062名・令和元年度2046名・2年度2060名)

(2) 中学生文字・活字状況調査（平成27年度から新規調査）

① この1か月間に、本（教科書・マンガは含まない。）、新聞、雑誌、補助教材、学習参考書、図鑑や辞典、その他資料を読んだ生徒数

1803名 93.2%

(平成29年度93.6%・30年度94.1%・令和元年度94.8%・2年度94.0%)

東京都 R1
91.9%

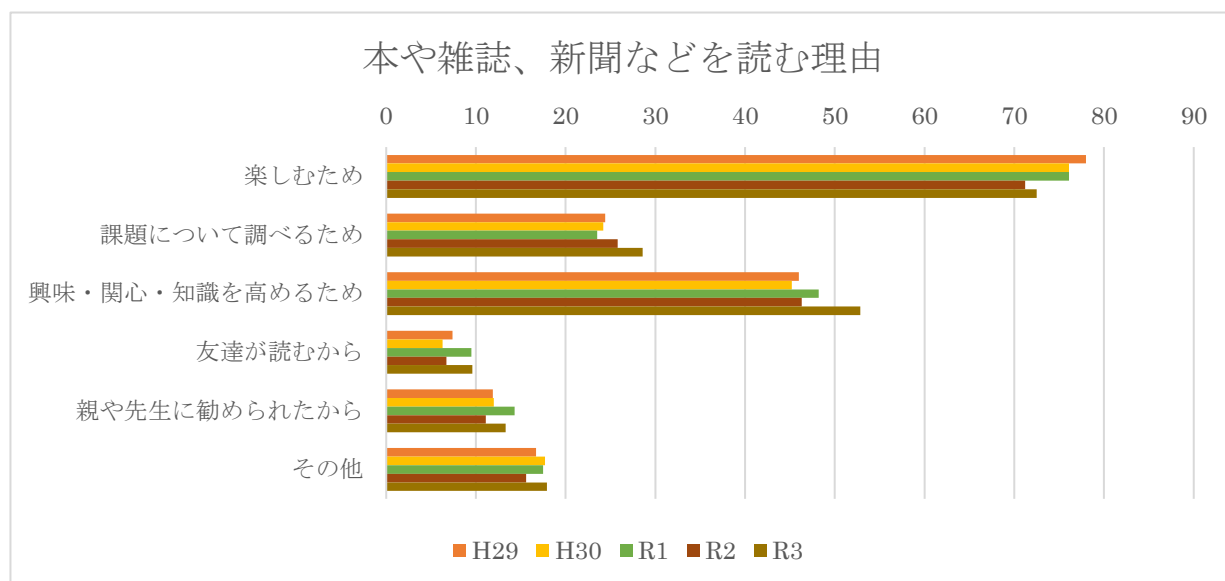
② ①のうち、パソコン・タブレット端末・スマートフォン・携帯電話等で読んだ生徒数

913名 50.6%

(平成29年度35.9%・30年度41.2%・令和元年度39.6%・2年度37.7%)

東京都 R1
37.2%

③ ①のうち、本や雑誌、新聞などを読む理由：複数回答(%)



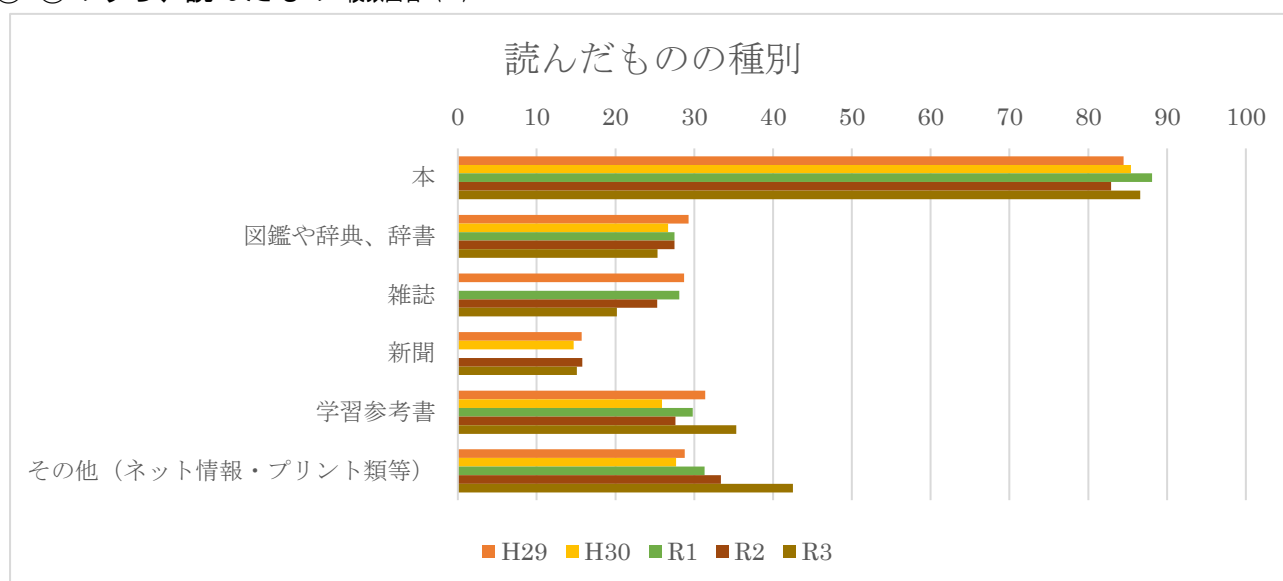
	楽しむため	課題について調べるため	興味・関心・知識を高めるため	友達が読むから	親や先生に勧められたから	その他
■ R3	72.5	28.6	52.9	9.6	13.3	17.9
■ R2	71.2	25.8	46.3	6.7	11.1	15.6
■ R1	76.1	23.5	48.2	9.5	14.3	17.5
■ H30	76.1	24.2	45.2	6.3	12	17.7
■ H29	78	24.4	46	7.4	11.9	16.7

東京都 R1
楽しむ 73.3%
調べる 29.2%
興味・関心 40.0%
友達 5.5%
勧められた 11.6%
その他 20.9%

東京都 H29
楽しむ 75.2%
調べる 28.1%
興味・関心 40.8%
友達 4.8%
勧められた 14.7%
その他 20.9%

■ R3 ■ R2 ■ R1 ■ H30 ■ H29

④ ①のうち、読んだもの：複数回答（%）



	本	図鑑や辞典、辞書	雑誌	新聞	学習参考書	その他（ネット情報・プリント類等）
■ R3	86.6	25.3	20.2	15.1	35.3	42.5
■ R2	82.9	27.5	25.3	15.8	27.6	33.4
■ R1	88.1	27.5	28.1	0	29.8	31.3
■ H30	85.4	26.7	0	14.7	25.9	27.7
■ H29	84.5	29.3	28.7	15.7	31.4	28.8

■ R3 ■ R2 ■ R1 ■ H30 ■ H29

⑤ ①のうち日本・海外の歴史・文化・風習の書かれたものを読んだか

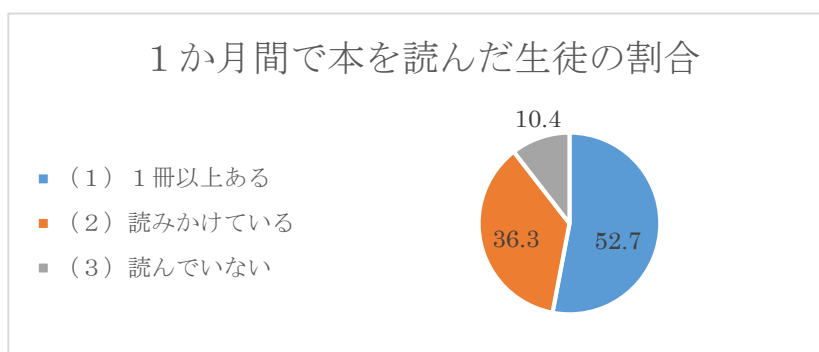
630名 34.9%

(平成29年度623名30.7%・30年度601名31.0%・令和元年度601名31.0%・2年度523名27.0%)

東京都 R1
36.1%

(3) 中学生の未読者率・不読率 (%)

- ①この1か月間で本を1冊も読んでいない(読みかけの本もない)生徒数 202名 10.4%
(平成29年度218名 9.5%・30年度219名9.9%・令和元年度170名7.3%・2年度275名12.2%)



「全く読んでいない」：不読率 (%)

年度	全国平均	東京都平均	板橋区平均
平成21年度	12.7	23.9	34.7
平成23年度	16.2	22.1	37.3
平成24年度	16.4		15.8
平成25年度	16.9	12.2	13.8
平成27年度	13.4	11.5	10.6
平成28年度	15.4		10.5
平成29年度	15.0	11.1	9.5
平成30年度	15.3	9.9	9.9
令和元年度	12.5	9.9	7.3
令和2年度	中止		12.2
令和3年度	10.1		10.4

※東京都平均は、隔年(平成21・23・25・27・29年度・令和元年度)で実施され、板橋区立中学校2校の全学年全学級の抽出が報告されている。平成24年度以降の8回分の板橋区平均は、東京都が平成25・27・29年度・令和元年度に実施した読書状況調査項目に準じ、板橋区立中学校全校の各学年1学級ずつ抽出、調査結果を得ている。

※東京都平均は、中学2年生を対象としているため、板橋区平均の全学年対象とは異なる。

学年別不読率 (%)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
7年生	6.2	8.2	4.5	15.3	5.2
8年生	6.8	8.9	5.8	9.8	7.7
9年生	15.4	12.6	11.5	11.4	18.4
全学年	9.5	9.9	7.3	12.2	10.4

東京都 R1
中学1年 5.1
中学2年 9.9
中学3年 13.4

②1か月で読んだ冊数の平均

(1人当たり) 4.7冊

※1冊以上読んだ生徒が回答: 1019名

(平成29年度4.4冊・30年度4.1冊 令和元年度4.0冊 2年度5.6冊)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
7年生	5.1	4.5	4.7	4.6	4.3
8年生	3.7	3.6	3.6	6.9	3.7
9年生	4.2	4.1	3.6	5.4	5.7
全学年	4.4	4.1	4.0	5.6	4.7

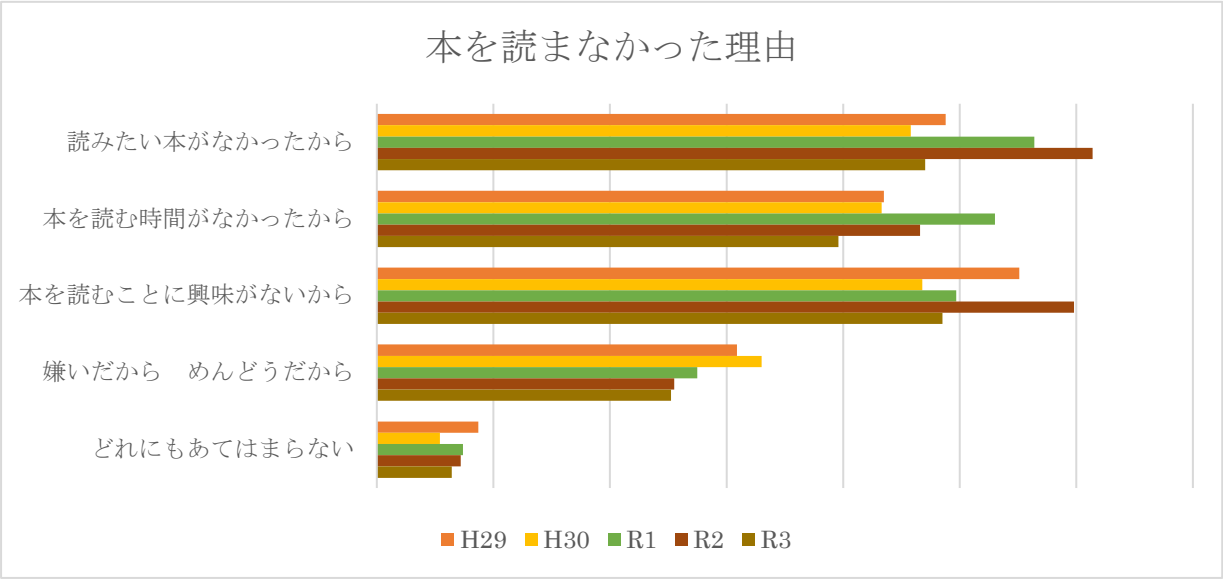
東京都 R1
4.3冊

③読んだ本に電子書籍があった 290名 23.0%

(平成29年度285名14.6%・30年度324名17.6%・令和元年度329名17.5%・2年度310名26.8%)

東京都 R1
20.7%

④本を読まなかった理由（％）未読・不読者が複数回答：２０２名 １０．４％
 (平成２９年度２０７名・３０年度２１９名９．９％・令和元年度１７０名７．３％・２年度２７５名１２．２％)



	読みたい本が なかったから	本を読む時間 がなかったか ら	本を読むこと に興味がない から	嫌いだから めんどうだか ら	どれにもあて はまらない
■ R3	47.0	39.6	48.5	25.2	6.4
■ R2	61.4	46.6	59.8	25.5	7.2
■ R1	56.4	53.0	49.7	27.5	7.4
■ H30	45.8	43.3	46.8	33.0	5.4
■ H29	48.8	43.5	55.1	30.9	8.7

■ R3 ■ R2 ■ R1 ■ H30 ■ H29

東京都 R 1	
本がない	44.4％
時間がない	32.4％
興味がない	48.3％
嫌い・面倒	26.2％
どれもない	7.6％

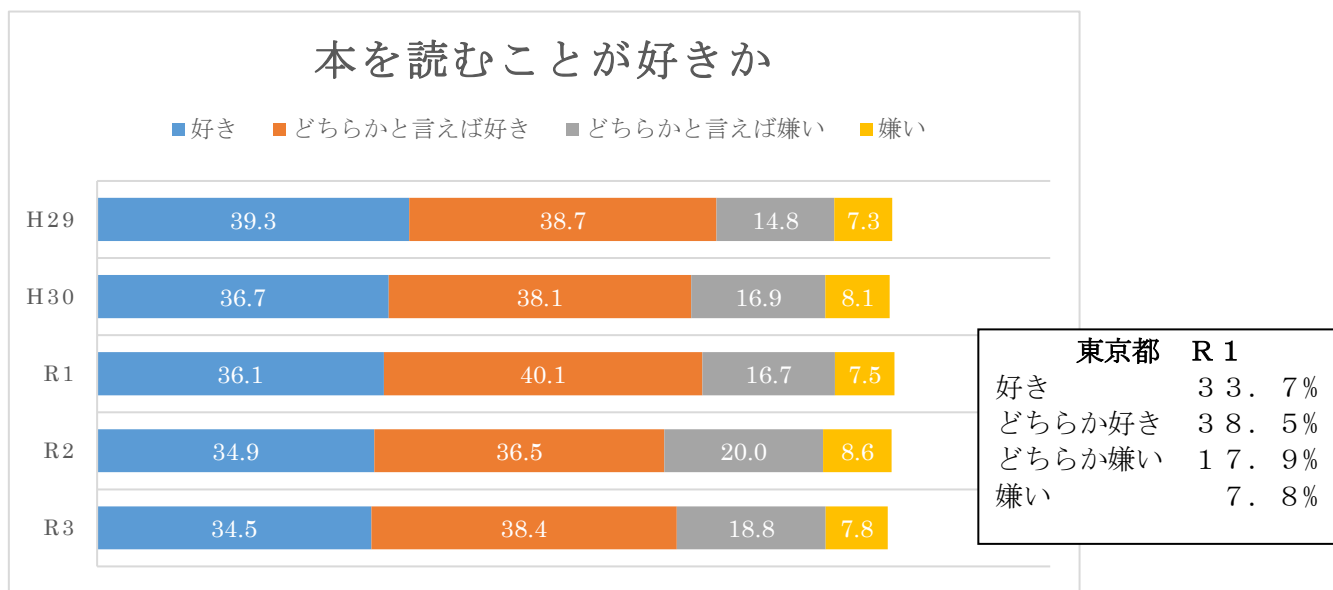
（４）図書館の利用状況：全生徒回答

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
学校図書館	59.7	65.0	69.0	54.1	55.2
学校図書館以外	53.6	52.7	56.0	39.7	44.4

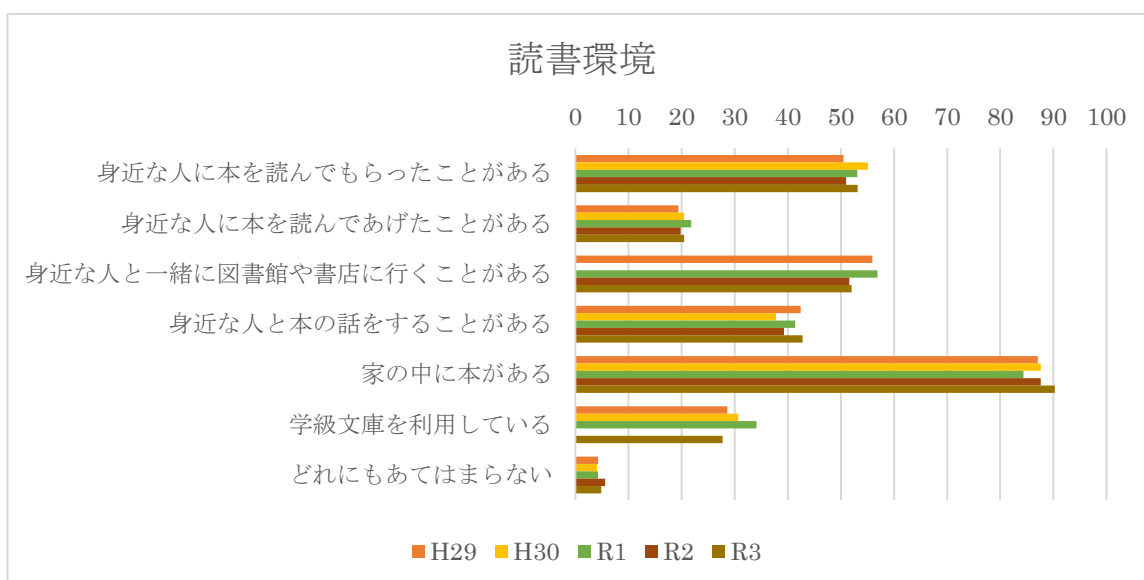
東京都 R 1 学校図書館 61.7％

東京都 R 1 学校図書館以外 47.3％

(5) 本を読むことが好きか：全生徒回答（％）



(6) あなたについて —読書環境（％）—



	身近な人に 本を読んでも もらったこと がある	身近な人に 本を読んで あげたこと がある	身近な人と 一緒に図書 館や書店に 行くことが ある	身近な人と 本の話をする ことがある	家の中に本 がある	学級文庫を 利用してい る	どれにもあ てはまらな い
R3	53.2	20.5	52.0	42.8	90.3	27.7	4.9
R2	51	19.8	51.6	39.3	87.6	21	5.6
R1	53.1	21.8	56.9	41.4	84.4	34.1	4.3
H30	55.1	20.5	55	37.8	87.6	30.7	4.1
H29	50.5	19.4	55.9	42.4	87.1	28.6	4.3

東京都 R1

読んでもらう 49.3%

読んであげる 22.0%

身近な人 47.5%

話をする 32.8%

本がある 87.3%

学級文庫 18.4%

あてはまらない 5.2%

■R3 ■R2 ■R1 ■H30 ■H29

4 考察と取組例

(1) 考察

- ① 第三次東京都子供読書活動推進計画において、平成31（令和元）年度までに平成25年度の3割減となる目標数値：9.2%（中学2年生）及び平成35（令和5）年度までに6.6%（中学2年生）に向けて、今回の調査結果を踏まえた取組及びコロナ禍における新たな読書習慣の定着に向けた手立てを模索する必要がある。
- ② 未読・不読率において、9年生が18.4%と突出しており、昨年度（8年生時）より倍増している。昨年のコロナ禍による休校の影響で、各校が朝読書の時間を補充学習の時間に充てたことで不読率が高まった学年が、受験中心の生活になったことでさらに不読率を高めたと思われる。
逆に8年生は、7.7%で昨年度（7年生時）より半減している。元々読書習慣の定着があった学年が元の状態に戻ったと考えられる。
- ③ ②で触れた不読率が高かった9年生が、1か月で読んだ冊数の平均が最も高かった。このことから、読書をする者とししない者の差が開いていることがうかがえる。
- ④ 本を読まなかった理由のうち、「読みたい本がない」「読む時間がない」「読むことに興味がでない」がいずれも前年よりも低下している。読書に向かう姿勢や環境は昨年度よりは整ったと言える。昨年の課題であった、「本を読む時間がない」「読みたい本がない」を解決することが進んできた表れと考えられる。
- ⑤ 図書館の利用状況では、「学校図書館」が55.2%、「学校図書館以外」が44.4%と、読書環境では、「身近な人と図書館や書店に行く」が51.9%と、コロナ禍における学校図書館・学校図書館以外の利用率に現れている。
- ⑥ 幼少時からの「読み聞かせ」の経験があることや「家の中に本がある」という環境が、読書習慣の定着に大きく関わる。
- ⑦ 文字・活字状況調査では、本や雑誌、新聞などを読む理由として、「楽しむため」72.5%、「興味・関心、知識を高めるため」が52.9%と主体的に読書に向き合っている傾向がうかがえる。読んだものとしては「本を読む」が86.6%で最も多かった。
また、読書調査では、電子書籍の読書量が年々伸びていることがわかった。活字にふれる手立ての多様化が加速していると言える。

(2) 取組例

- ① 学校経営方針の中の位置付けとともに「朝読書」「板橋区『読書通帳』」「推薦図書」を家庭や地域に呼びかける「家庭読書の日」等、読書習慣の定着、読む本の質の向上、電子書籍等の活字にふれる手立ての多様化をさらに図る具体的な施策を実施すること。
- ② 「本を読む時間」を朝読書等の取組で短時間でも確保すること、推薦図書や学校図書館で購入する希望図書を生徒に周知し、新刊本の展示、図書委員会活動の活性化等、生徒の「読みたい」という意欲付けを図り、読書に主体的にかかわる態度を育成すること。
- ③ 「調べる読書」について、図書館司書による図書案内サービスや図書登録の検索、地域図書館の貸し出しサービス、教科担当の先生からの推薦図書紹介等を行うこと。
- ④ 「文字を読む」ことについて、国語等の教科指導や読書環境の整備の中で、目的をもって本を読んだり、考えを深めたり、他人に伝えたりする活動を取り入れ、「楽しい」「面白い」という経験を丁寧に積み重ねていくこと。
- ⑤ 読書感想文コンクールや調べる学習コンクール等への出品を通じて、その価値付けを明確にすること。

※読書感想文コンクール応募数・学校数・東京都読書感想文コンクール入選数

年度	応募数	学校数	東京都入選数
平成24年度	4163点	22校	優秀賞1点
平成25年度	4795点	20校	最優秀賞2点
平成26年度	5930点	23校	優秀賞1点
平成27年度	6879点	23校	優秀賞1点
平成28年度	6137点	21校	優秀賞1点
平成29年度	6472点	23校	優秀賞1点
平成30年度	6020点	22校	入賞なし
令和元年度	6001点	22校	最優秀賞1点優秀賞1点
令和2年度	5864点	22校	優秀賞3点
令和3年度	6001点	22校	優秀賞1点

⑥学校図書館の図書の分置等の工夫、地域図書館の連携等を通じて、図書館の活用を推進すること。

⑦読書活動を支える人材の育成を図ること。